

ふみの日に山頂に置かれるポストを作っている山の手郵便局の高島敏広さん。丈夫で軽い素材を求め、市場でマグロを入れる円柱型の発泡スチロールを見つけたアイデアマン。



三角山では、一年を通じてさまざまな行事が開催されます。そのほとんどは、三角山の自然愛護などを目的とする市民グループ「山と森の散歩道」(事務局長石島しのぶさん 021-5380)の皆さんが中心となって行うものです。

これからの時期では、七月二十三日の「ふみの日登山」があります。ふみの日に三角山から手紙を出そうという企画で、当日に限り山頂に臨時の「三角山ポスト」が設けられます。山の手郵便局の協力によるこの催しは人気が高く、毎年約五〇〇人も参加があるそうです。

また、十五夜の時期の夕方「観月会」が開かれるほか、元旦には、初日の出を三角山で迎える恒例のイベントもあります。さらに



山の手郵便局のスタンプ。三角山と1等三角点、キアゲハを入れたデザインになっています。ふみの日の記念登山証明書にも押印されます。

二月には、エスキモーの氷雪の家「イグルー」を作る催しも行われます。

このほかにも、三角山の標高三一メートルにちなんで、三月十一日を「三角山記念日」とし、この日の出に合わせて登山するイベントなど、今後も多彩な催しが行われる予定です。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

今年の春、三角山の頂上付近で、樹木十数本が無断で伐採されるという残念な事件がありました。三角山の豊かな自然は、みんなの財産です。マナーやルールを守り、山の魅力をいつまでも気持ちよく楽しめるようにしたいものです。

○ 三角山登山口への行き方  
地下鉄東西線琴似駅・宮の沢駅の両バスターミナルから、市営バス・琴似西野線(西29)に乗り、「山の手4条11丁目」で下車。バスは1時間に1、2本出ています。バス乗車時間は琴似からは約8分、宮の沢からは約17分です。また、西28丁目駅発の市営バス・山の手環状線(環20)でも行くことができます。

バス停から約5分ほど南側に歩くと、今回紹介した「山の手側入口」に到着します。

○ 三角山登山コース  
今回紹介したのは、左図の太い茶色のコースです。

※ 上記以外の登山口(宮の森側入口、小別沢入口)や、登山コースもあります。詳しくは、西区役所で配布している冊子「北都西遊記」や、札幌市環境局緑化推進部発行の「みんなの三角山 三角山散策マップ」をご覧ください。